

製品名: ASH2L ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85313**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 69 kDa; Observed MW: 80 kDa

抗原情報

遺伝子名	ASH2L
別名	ASH2; Bre2; ASH2L1; ASH2L2
遺伝子 ID	9070.0
SwissProt ID	Q9UBL3
免疫原	ヒト ASH2L の合成ペプチド

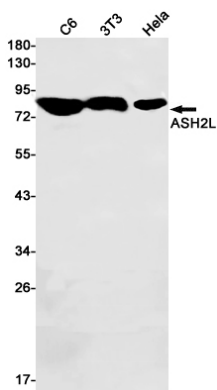
背景

Set1/Ash2 ヒストンメチルトランスフェラーゼ (HMT) 複合体の構成要素。この複合体はヒストン H3 の Lys-4 を特異的にメチル化

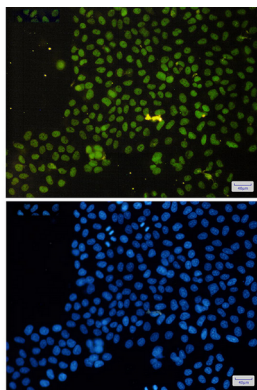
するが、隣接する Lys-9 残基が既にメチル化されている場合はメチル化されない。MLL1/MLL 複合体の一部として、ヒストン H3 の Lys-4 のメチル化およびジメチル化に関与する。転写調節因子として機能する可能性がある。造血において役割を果たす可能性がある。

研究分野

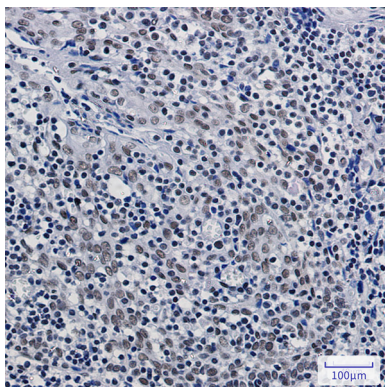
画像データ



ASH2L 抗体を使用した C6、3T3、Hela 溶解物中の ASH2L のウエスタン ブロット分析。



Hela における ASH2L (緑) の ASH2L 抗体および DAPI (青) を用いた免疫細胞化学分析



ASH2L 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。